

掛田自治協議会からのお知らせ

掛田の広場



第27号
2021年9月22日
掛田自治協議会
〈発行責任者〉
会長 大友靖子

地域のお宝歴史探訪再調査を実施

8月28日(土)茶白山に建立されている佐藤嘲花、高橋新一の歌碑、金毘羅様、段居の大井戸等、未調査の建物を調査し写真に収めました。
また、9月7日(火)には北町の金胎大神、中町の菅原天神社や清水の防空壕跡地等も調査しました。
地域資料を年度内にまとめ、掛田地域のお宝歴史探訪を冊子にして、皆さんに配布出来るよう地域づくり部会で進めております。
コロナ感染拡大により、皆で集まって進める各部会の事業も中止や、延期せざるを得ない状況であります。
役員、各部会員共に、初期の目的達成のため今後とも、地域の皆様のご協力をよろしくお願いします。



調査にあたった自治協議会の面々

歌碑

遠山の雪もはだらに春日さす
この街道は行けど飽かずも

佐藤 嘲花

「山の山

山のかなた
山こえて
山のはてに
うみ ありと

詩集「鬱愛の山を行く」より
高橋 新一

第1回 防火訓練を実施

9月10日(金)、令和3年第1回防火訓練を東分署の指導で実施しました。



調理室からの出火を想定して訓練。火災発生時の119番通報、避難誘導訓練では、交流館利用の皆さんにも協力して頂き、また水消火器による消火訓練にも参加して頂きました。

コラム

「負けないぞ」

「雑草という名の植物はない。」と聞いたことがある。道路の隙間にネコジャラシ、堤防と道路のつなぎ目に力強く根を張ったヨモギ。お盆前には気の早いススキが穂を広げ風に揺れていた。電柱の支えや桜の木までツル性の植物が上へ横へどこまでも伸びていく。(ひと昔前、きゅうりの接ぎ木に丈夫でいいからと外国から入ってきた植物らしい。)「畑に植えたナスは日照りで『棒(ポ)』ナス』になってしまった。」と、近所の友人が話していた。「命の危険を感じるような暑さ」「今まで経験したことのないような大雨」そして、残暑はどこへやらの秋の風。何かが起こる前ぶれ

非常時の対応について、取るべき行動等再確認しました。

これから乾燥する季節となりますので、皆様火の元には充分気を付けてください。

(掛田自治協議会事務局)

か、「もつと自然を大切にしろよ。」の警告か。都会の高層ビルもコンクリートの道路も、人が住まなくなったら植物で覆われ森と化す。と、以前テレビのドキュメント番組で放映されていた。大都会をも飲み込んでしまう植物、「すごい力だ。」

今、家の庭も近くの空地も茶白山も手入れが行き届かないでいると、竹や植物が自由に伸びて掛田の町を飲み込んでしまうかもしれない。そうならないように「美しい自然が自慢です。」と誇れる私達の町を守っていきましょう。「負けないぞ」などと考えるながら、
毎日、庭や畑の草退治をしている私がここに



編集後記

この夏の酷暑も過ぎ、秋雨前線が日本列島に停滞、秋へ一直線でしょうか。お陰様で「掛田の広場」も27号になりました。いろいろと反省を加えよりよい広報紙とスタッフ頑張っております。皆様にもより一層のご協力をお願いします。

先ずは前号26号の誤り訂正とお詫びを申し上げます。2ページ2段の「社会体育部会」は「社会教育部会」また4ページの2段目「ヨッテミ再オープン」のりようぜん楽しよう会 理事長引地イツ子は大橋イツ子の誤りでした。訂正をお願いいたします。

皆様のお気づき点や、お知らせなど気軽に投稿願います。

ワクチン接種も大分進みましたが、人前ではマスクを着け、三蜜を守り、体調管理に注意され楽しい秋を迎えましょう。

(味覚の秋・読書の秋・行楽の秋・スポーツの秋 etc...)

福島県は非常事態宣言!



福島県全域に非常事態宣言がなされております。

福島市他2市には、「まん延防止等重点措置」が9月30日まで延長され、県の非常事態宣言も同時に延長となりました。

県内においても、強力な感染力のデルタ株による爆発的感染拡大が続いており伊達市においても感染者が出ております。

8月17日の新聞には、「道の駅伊達の郷りょうぜん」で職員1名が感染し、2週間近く閉鎖となりました。

道の駅には、県内外から大勢の来場者があり、誰がいつ何処で感染するか分かりません。また、自分が感染しているかも?と、常に危機感を持ち、医療体制の逼迫と医療従事者への負担をこれ以上増やしてはなりません。

交流館、体育館利用の皆さんも、しっかりと感染防止対策を取り、お互いに感染しない、させない事を強く意識して行動しましょう。

(掛田自治協議会事務局)

お問い合わせ先 霊山中央交流館
電話 586-1314 FAX 586-3391
e-mail kakedajichikyougikai@aioros.ocn.ne.jp

金婚夫婦 表彰式を開催

福島民報社と福島県老人クラブ連合会が主催し、霊山町老人クラブ連合会が実施主体となつて、9月8日(水)金婚夫婦表彰式が中央交流館で開催されました。

町内10組の金婚夫婦を代表して、掛田地区の渡辺隆さんご夫婦が表彰状と祝の記念品を受領しました。

また、来賓祝辞のあと、受賞者を代表して掛田地区の菅野重明さんご夫婦が祝辞を述べました。



結婚50周年 おめでとうございます!

なお、掛田地区6組の受賞者は次の方々です。

- 渡辺 隆・昭 江様
- 菅野 正夫・ハル子様
- 高田 勝也・セ エ様
- 岡崎 正男・富 江様
- 菅野 重昭・和 子様
- 佐藤 義光・弘 子様

60年間の スタンプ事業終了

この度、まことに残念ですが、60年もの長い間皆様にご愛顧・ご利用頂きました「霊商スタンプシール」事業を8月31日をもって終了いたしました。

本当に心苦しい事ですが、ここ数年商業環境は激変し、厳しさを増したスタンプ会加盟店の減少が続き、ここに来て世界的なコロナ感染の拡大もあり継続が困難と決断したものです。

8月末の台紙使用期限内には予想以上多くの皆さんにご利用いただき、また、多くの励ましを頂きました。

花は散つても種を残し、次の花を咲かせます。これからも皆さんと楽しい場所づくりをしていきたいものです。

また、町場にスーパーが無くなり、買い物の利便性を考えオープンしたミニスーパー「やすまんしょ」は、当初多くのお客さんにご利用を頂きましたが、お客様も徐々に姿が見えなくなり、一応の役目は終わったのかと思っております。本当に寂しい限りですが、

9月30日を以って閉店となります。長い・長い間、ご利用本当にありがとうございました。

協同組合 霊商スタンプ会

理事長 佐藤 吉彦



60年の長い期間皆さまに利用して頂きました

避難の判断基準が 変わりました。

今年7月線上海水帯が多数発生し、降雨による被害が続発しました。また、伊豆山で起きた土砂災害には皆さんも大変驚いた事と思います。長雨が続きと思わぬ処で土砂崩れが発生してしまいます。今年5月に避難に関する警戒レベルが変わりました。今回の改定で「レベル4」は避難指示で必ず避難です。

先日、福島県から「ふくしまマイ避難ノート」が配布されました。いざと言う時に役立つ情報が沢山掲載されています。ぜひ、活用してください。



1 「警戒レベル」 ～避難の判断基準を知ろう～

市町村などが、住民避難情報と併せて5段階の「警戒レベル」を発令します。災害時は、市町村や県からの情報(防災無線、自治体のホームページ、テレビ、ラジオなど)に注意しましょう。

警戒レベル4 令和3年5月20日から 避難指示で必ず避難

警戒レベル	新たな避難情報等	行動
5	災害発生または切迫 さんきょうあんぜんかくほ 緊急安全確保	身の危険を感じたら安全確保!
4	災害のおそれ高い ひなんじし 避難指示	危険な場所から速やかに避難する
3	災害のおそれあり こうれいしやうどうひなん 高齢者等避難	避難に時間を要する人は危険な場所から避難する
2	気象状況等に 大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	ハザードマップなどで自分の避難行動を確認する
1	今後気象状況変化のおそれ 早期注意情報 (気象庁)	災害への心構えを高める

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発生される情報ではありません。
※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります。
※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じて避難の行動を見合わせることが、避難の準備もした、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

「わんわんパトロール」 隊員の募集

伊達市防犯協会 掛田支部では、今年始めて地域の防犯対策として「わんわんパトロール」活動を取り組む事にしました。

わんわんパトロールは、掛田・山野川地区内に居住されている飼い主さんと「わんちゃん」のご協力を得て開始します。

募集隊員は30頭程度です。

わんわん パトロールって?

「ワンちゃんのお散歩」と一緒に地域を見守りパトロール活動を行うことが主な内容です。

「わんわんパトロール」グッズを身につけて住民活動を行う事で

地域の防犯・ 防災活動に ご理解を。

かわいいワンちゃんのおグマークが入った「わんわんパトロール」のグッズを着用し、活動の普及・安心安全なまち作りを目指す取り組みに是非ご協力をお願いします。

伊達市防犯協会連合会
掛田支部長 引地 秀樹



リードにつける
リードポーン